



SEMI® INTERNATIONAL STANDARDS

2011年JRSCプランニング会議
リーダーシップ・トレーニング

R5

2010年8月26日(金)

SEMIジャパン



目次

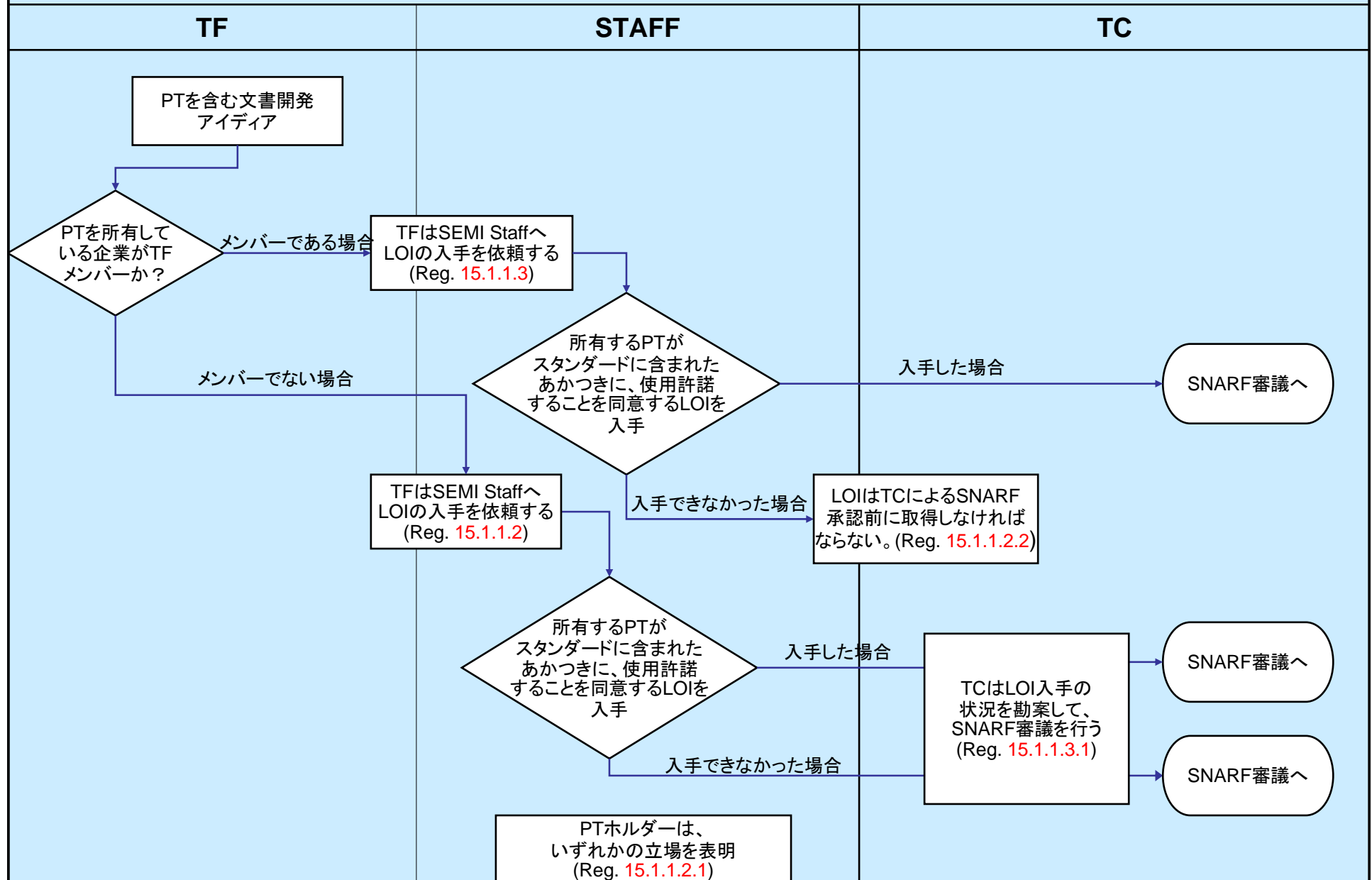
- 2011年6月発効規約における改訂点
 - IP関連
 - LOIの導入
 - PMPTが正当化されるかの判断
 - トレードマーク(商標)の使用
 - バロット審議関連
 - TF活動の定義の明記
 - バロット審議のタイミング
 - 改訂ドキュメント活動について
 - Editorial Changesについて
- 2011年7月発効プロシジャーガイドにおける改訂点
 - 規約改訂に伴うプロシジャーガイドの改訂以外の改訂点
 - SNARFフォーマットの改訂
 - バロットのFailについて
 - スタンダード/安全ガイドラインに記述されるセクションについて
 - Re-approvalバロットに対するSEMI Staffの対応について
 - Line-itemの最大数について
 - Major Revisionの定義の明記化
 - Reinstatementバロットの定義
 - 最後に: Procedure GuideとStyle Manualの位置づけ

2011年6月発効規約における改訂点

- IP関連
- バロット審議関連

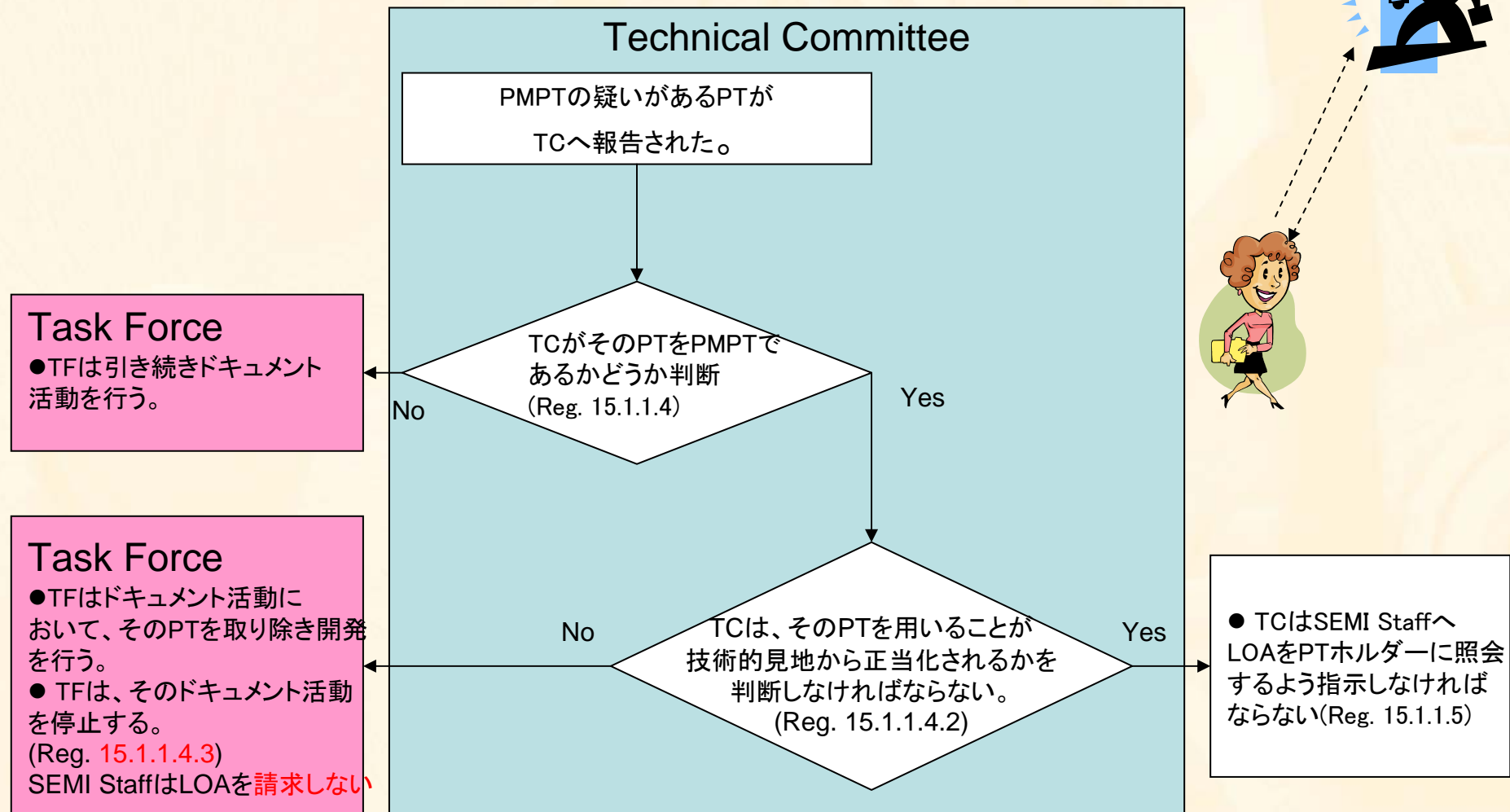
Letter of Intent (LOI)の導入

●LOIとは、TFが当初からPTを含む形でドキュメントを開発しようとする場合、そのPTホルダーにスタンダード化の際のRAND/Free Licenseがあるかどうか確認を求める書面のこと(紳士協定的性質)



PMPTが正当化されるかの判断

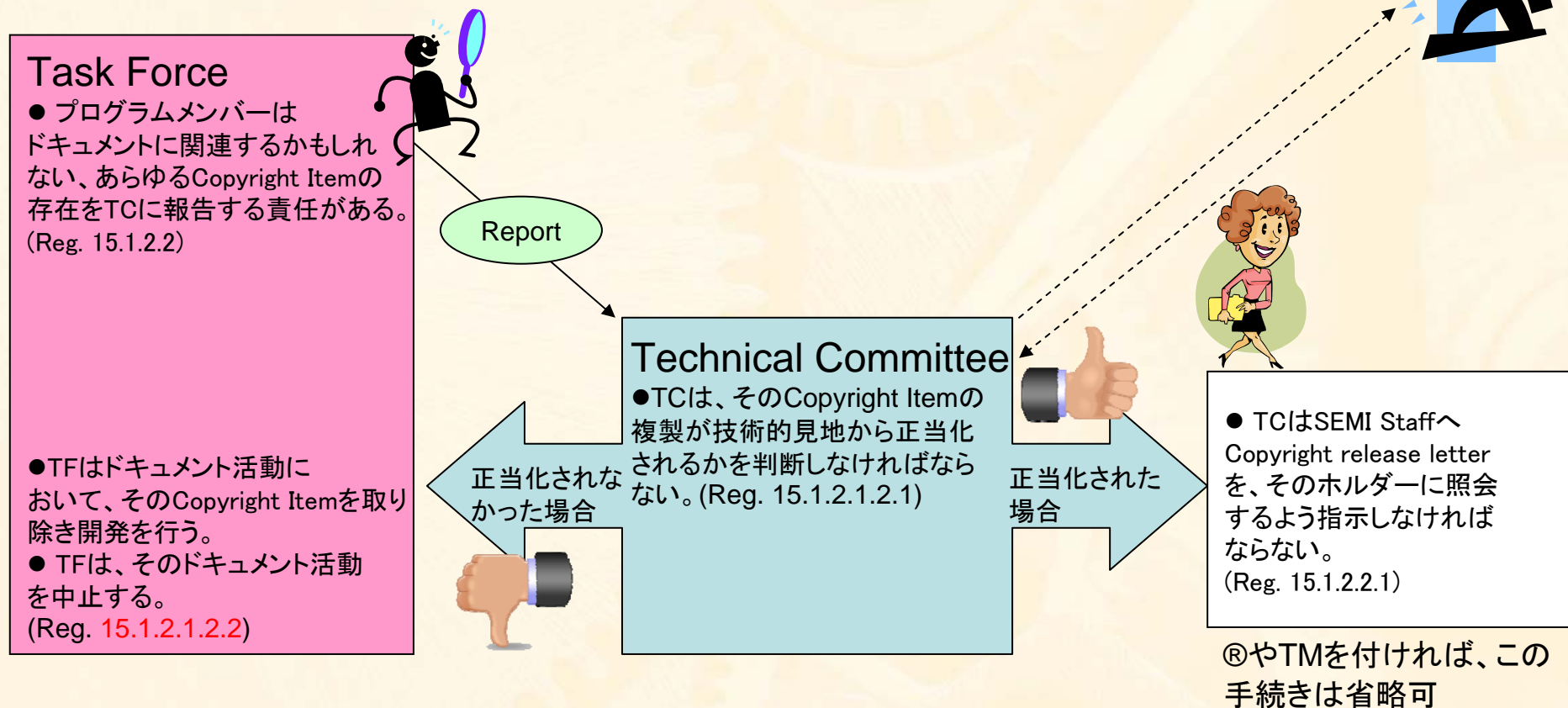
- Potentially Material Patented Technology (PMPT)とは、開発中のドキュメントにおいて潜在的にマテリアルと思われる可能性をもつPTのこと



トレードマーク(商標)の使用

- スタンダード/安全ガイドライン中には、トレードマークの使用は避けるべきである。ある場合(以下)において、トレードマークを使用する際はCopyright Itemsの手続き(Reg. 15.1.2)に従う。 (Reg. 1.5.12.1)

- スタンダード/安全ガイドライン内の適用対象となる原典に対する参照や引用の一部となる場合
- スタンダード/安全ガイドラインを導入したり、それらに準拠するのに必要な必須装置、部材、サービスとなる場合
- 記述子として用いられ、スタンダード/安全ガイドラインの他の知的財産と連動して用いられる場合
- 英語の一般的に受けいられているトレードマーク(e.g. Teflon, Pyrex)

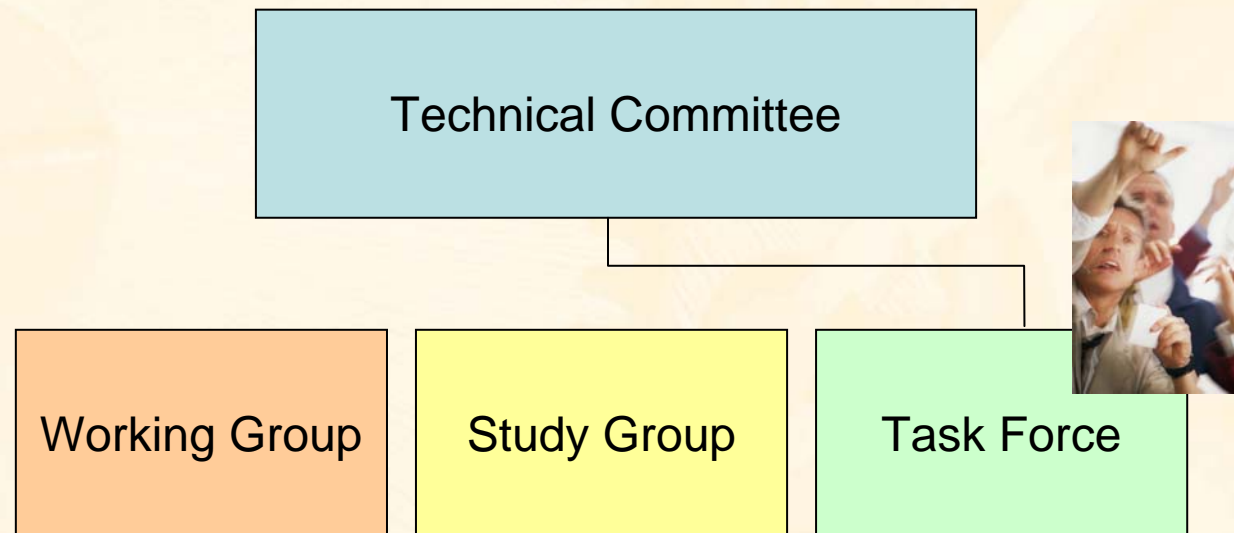


2011年6月発効規約における主な改訂 点

- IP関連
- **バロット審議関連**

Task Force活動の定義の明記

- TFは、ドキュメント開発を行うことが主な機能である。TFは、TCのScope範囲内でさらに、フォーカスして活動する。(Reg. 5.6.3.2)
- 全てのドキュメント開発活動はTask Forceによって行われる。(Reg. 5.6.6.3.2)
 - 例外として、Re-approvalとWithdrawalバロットは、TFを必要としない。しかし、それらバロットがFailした後の改訂活動はTFによって行わなければならない。(Reg. 5.6.6.3.2.1)
 - Re-approvalとWithdrawalバロットは、TCが決議した後、SEMI Staffが対応する。



バロット審議のタイミング

- バロット審議は、そのバロットのbackground statementで指定したTC会議(日時・場所)で実施し完了しなければならない。(Reg. 9.5)
 - 天災等の事態において、SEMI Staffが審議延期の決断をした場合、バロット審議は再調整された委員会日時に完了しなければならない。もし、再調整が困難な場合は、そのTC幹事が同意してGCSが承認すれば(Reg. 5.6.5.1d)、審議場所を他地区の委員会に変更してもよい。(Reg. 9.5.1)
- バロット審議を完了する為の条件
 - 全てのNegativeは、処理されている。(Reg. 9.6.2)
 - 例外として、Negativeが1つでもrelatedかつpersuasiveだと見なされれば、残りのReviewはTFが請け負ってもよい。(Reg. 9.6.4.2.4)

Background Statement for SEMI Draft Document 5049 Revision to SEMI E35-0307, GUIDE TO CALCULATE COST OF OWNERSHIP (COO) METRICS FOR SEMICONDUCTOR MANUFACTURING EQUIPMENT

NOTICE: This background statement is not part of the balloted item. It is provided solely to assist the recipient in reaching an informed decision based on the rationale of the activity that preceded the creation of this Document.

NOTICE: Recipients of this Document are invited to submit, with their comments, notification of any relevant patented technology or copyrighted items of which they are aware and to provide supporting documentation. In this context, 'patented technology' is defined as technology for which a patent has issued or has been applied for. In the

Review and Adjudication Information

	Task Force Review	Committee Adjudication
Group:	Equipment COO Task Force	NA Metrics Committee
Date:	Monday, October 24, 2011	Wednesday, October 26, 2011
Time & Timezone:	1:00 PM to 5:00 PM, Pacific Time	1:00 PM to 4:00 PM, Pacific Time
Location:	SEMI Headquarters 3081 Zanker Road	SEMI Headquarters 3081 Zanker Road
City, State/Country:	San Jose, California 95134 / USA	San Jose, California 95134 / USA
Leader(s):	Daren Dance (WWK) David Bouldin (Fab Consulting)	David Bouldin (Fab Consulting) Mark Frankfurth (Csmar)



改訂ドキュメント活動について

- 出版済みスタンダード/安全ガイドラインのみ改訂ができる。(Reg. 8.3.2.2)
 - 例外として、他のLine-itemバロットが開発・投票中であっても、その部分から技術的に独立した部分へのLine-item発行は可能。(Reg. 8.3.2.2.1)

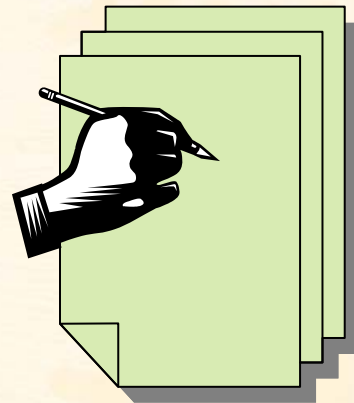


Line-itemバロットとは、出版済SEMIスタンダード/安全ガイドラインの特定の内容または箇所のみ影響を与える、1つまたは複数の変更を提案する改訂バロットのこと。(PG. 3.4.1)



Editorial Changesについて

- Editorial Changesは、レターバロットプロセスとは独立してTCの決議により行うことができる。(Reg. 8.8.4)
 - 但し、明らかな書式整形上のエラーやタイポは、PIP (Publication Improvement Proposal) によりSEMI Staff経由でTC承認なしで修正ができる。(Reg. 8.8.4.1)
- バロット承認とは独立にTCにて承認されたEditorial ChangeはA&RのReview対象となる (Reg. 5.4.4.4d ISC A&R SC機能の追加)



PIP処理

- 明らかなタイポやフォーマット

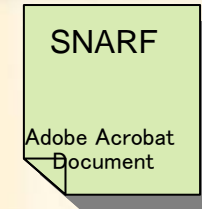


2011年7月発効プロシジャーガイドにおける改訂点

- 規約改訂に伴う改訂
- それ以外の改訂点

SNARFフォーマットの改訂

- SNARF (Standards New Activity Report Form)の改訂(PG. Appendix1)
→変更点が多いので必ず新しいフォーマットを入手すること。



- 主な改訂点

- Scope項でSubordinateドキュメントがそのPrimary Standard/ドキュメントと何が同じで、何が異なるのか記載

2. Scope:

a: Define the technical areas to be covered or addressed by this Standard development activity.

For Subordinate Standards, list common concepts or criteria the Subordinate Standard inherits from the Primary Standard, as well as differences from the Primary Standard:

- Subordinate StandardsのPrimary Standardsの特定が必要

For Subordinate Standards, identify the Primary Standard here:

3. Projected Timetable for Completion:

- General Milestones欄にOptionalとしてInformation Ballotの発効日記載欄が追加

a: General Milestones

a. Activity Start:

b. 1st Draft by:

c. (Optional) Informational Ballot by:

d. Letter Ballot by:

e. Committee Approval By:

- Intercommittee ballotのセクションが追加

b: Intercommittee ballots (check one):

will be issued – identify the recipient committee(s)

will not be issued

- LOIの入手有無のセクションが追加

6. Intellectual Property Considerations:

a: In complying with the standard or safety guideline to be developed (Check one):

there is no alternative to the use of patented technology or copyrighted item(s)

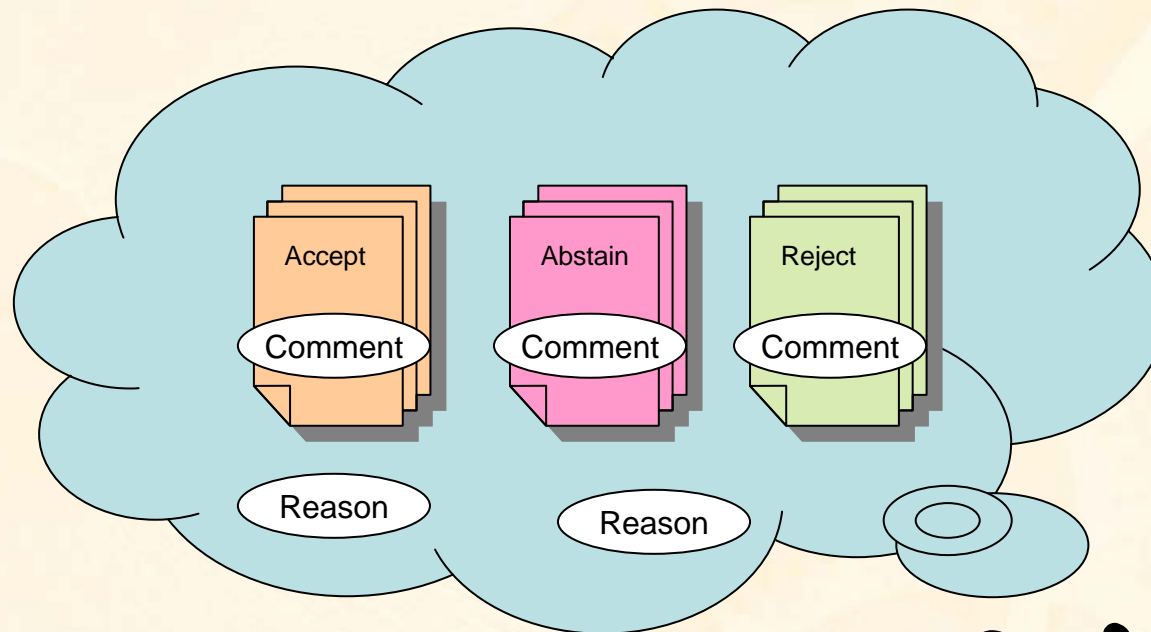
Letter of Intent received

Letter of Intent not received

the use of patented technology or a copyrighted item(s) is NOT required

バロットのFailについて

- Comment内容がドキュメントに関連し、技術的に説得力がある場合、TCはそのCommentでバロットFailすることができる (PG. 2.10.5.5.1)
- 投票に含まれない理由によるバロットFail (PG. 2.10.5.6)
 - Negative/Commentがなくてもドキュメントに関連し、技術的に説得力がある理由が存在すればFailできる (PG. 2.10.5.6.1)



スタンダード/安全ガイドラインに記述されるセクションについて

- Style Manualにあったセクション内容の表をPGへ移動しました。
 - 異なったSEMIスタンダードは、その目的に従い異なったセクションを含む。表には、スタンダードのタイプ別に、必須(M)、選択可(O)、禁止(P)があるが、これらは限定的なものはない。(PG 3.2.1)
 - 各セクションの詳細は、Appendix2へ記載。(PG. 3.2.2)

Table 10 Section Contents

<i>Standard Types/Sections</i>	<i>Classification</i>	<i>Guide</i>	<i>Practices</i>	<i>Specifications</i>	<i>Terminology</i>	<i>Test Methods</i>	<i>Safety Guidelines</i>
<i>Purpose</i>	M	M	M	M	M	M	M
<i>Scope</i>	M	M	M	M	M	M	M
<i>Limitations</i>	O	O	O	O	O	O	O
<i>Referenced Standards and Document</i>	M	M	M	M	M	M	M
<i>Terminology</i>	O	O	O	O	O	O	O
<i>Related Documents</i>	O	O	O	O	O	O	O
<i>Basis of Classification</i>	M						
<i>Classification</i>	M						
<i>Test Methods</i>	O			M/O #1			
<i>Application Specific</i>		M					M
<i>Summary of Practice</i>			M				
<i>Apparatus</i>			O			O	
<i>Reagents and Materials</i>			O			O	
<i>Safety Precautions</i>			O			O	
<i>Test Specimens</i>			O			O	
<i>Procedure</i>			M			M	
<i>Calculations</i>						M	
<i>Interpretation of Results</i>			O				
<i>Report</i>			O			M	
<i>Ordering Information</i>				O			
<i>Requirements</i>		P		M			P

Table10

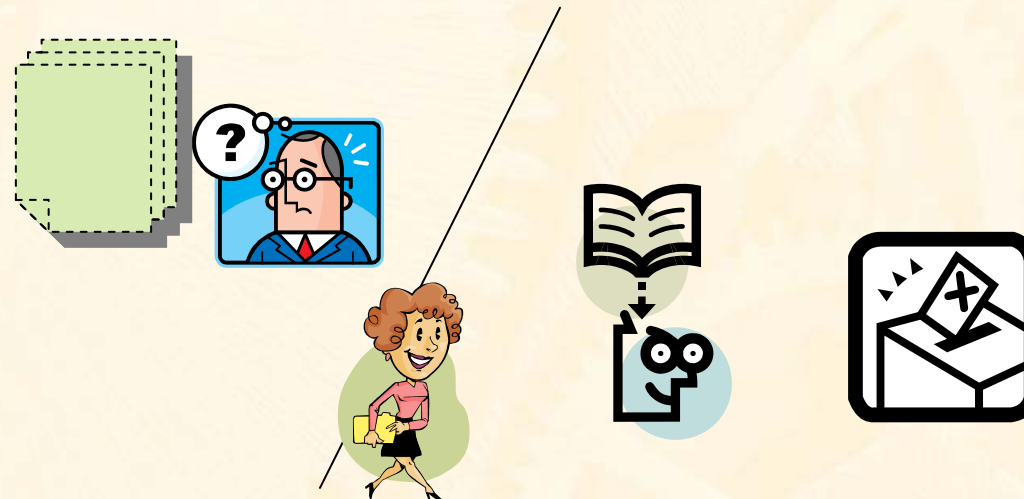
Adobe Acrobat Document

Appendix2

Adobe Acrobat Document

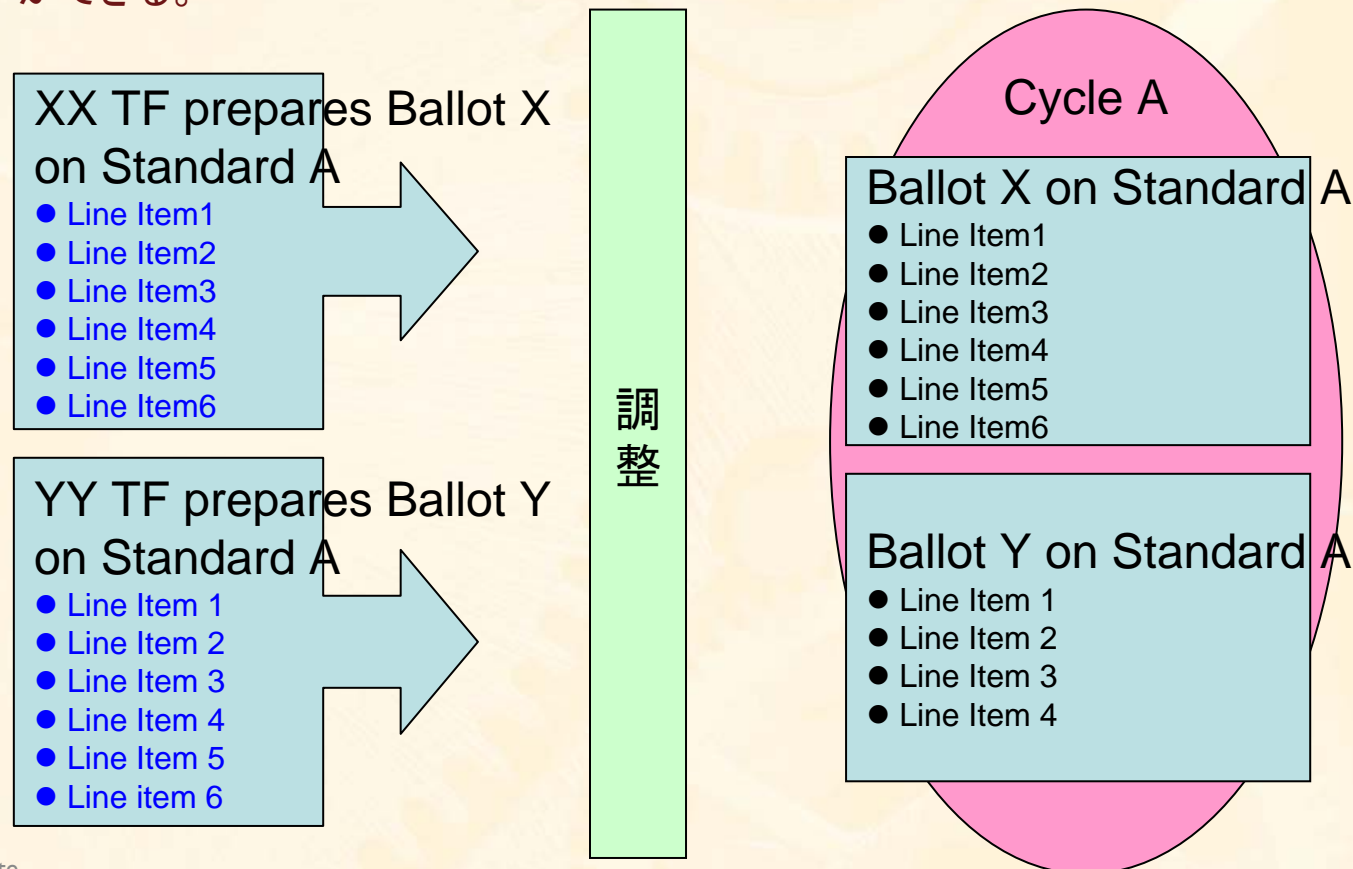
Re-approvalバロットに対する SEMI Staff対応について

- Re-approvalバロットには以下の内容を含める(PG. 3.3.2.5.1)
 - SEMI Staffは、Re-approvalの為、バロットが発行されていることの説明とnoteをBackground Statementに記載する(PG. 3.3.2.5.1.1)
 - 注: purpose, scope, limitation, terminologyを含めなければならない。(RG. Note11)
 - スタンドアード閲覧のVoters要求は投票終了3日(営業日)前に行われなければならない。それより遅いVoters要求がバロットの反対理由となることは正当化されない。(PG. 3.3.2.5.1.1.1)
 - Subordinate StandardsのRe-approvalバロットの際は、Votersの要求があれば、SEMI Staffは、Primary Standardの開示をする。



Line-itemの最大数について

- 1つのスタンダード/安全ガイドラインに対して許容される最大のLine-item数はバロツトサイクルあたり10である。(PG. 3.4.3.2)
 - 例えば、あるスタンダードに関する2つのバロツトの1つが6つのLine-itemsをもっていた場合、残りのバロツトは同バロツトサイクルにおいて、最大4つまでLine-itemsを持つことができる。



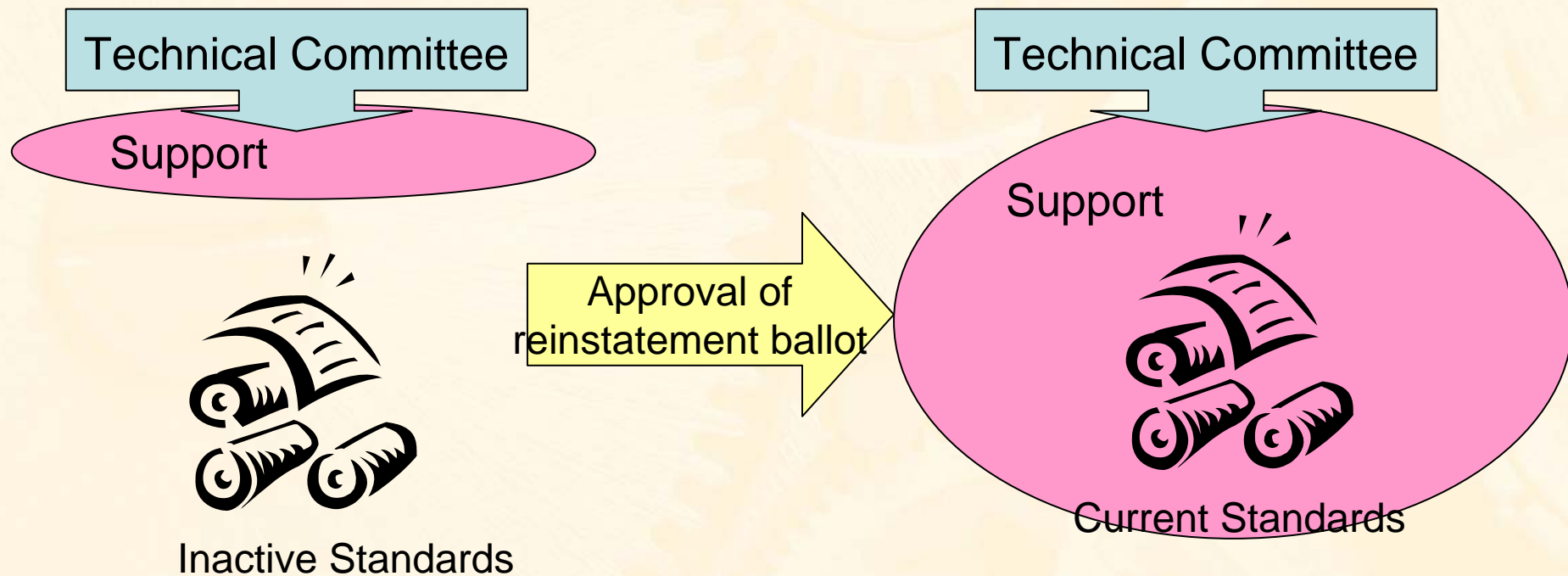
Major Revisionの定義の明確化

- Major Revision(全面改訂)の定義を明確化しました。
- 全面改訂とは、出版済スタンダードまたは、安全ガイドラインの文章に対する実質的な変更であり、スタンダードや安全ガイドラインのアップデート、アプリケーションの改良、文章表現の明確化、間違いの訂正を目的としたものがある。実際には全面改訂とは次のものである。(PG. 3.5.1)
 - 10を超えるラインアイテムが必要なもの
 - Purpose, Scope, Limitationsなど文章全体に影響する章の改訂が含まれるもの
 - 注: Terminology項内のパラグラフの変更や追加は文章全体に影響するかもしれない、また、限定的な影響かもしれない。前者の場合は、Major Revisionバロットが適切であり、後者の場合はLine-itemバロットで検討してもよい。



Reinstatementバロットの定義

- 技術的な変更を加えずInactive Standardを復活 (Reinstatement)させるためには、バロットアクションを必要とする。(PG. 3.3.2.8/Reg. 4.2.14.3)
- Inactive Standardは改訂もしくは差替えを選択することができる。(Reg. 4.2.14.4)



最後に:

Procedure GuideやStyle Manualの位置づけ

- プロシジャールガイドやStyle Manualなどの参照は、SEMIスタンダード活動において、SEMI規約を補い、プログラムメンバーやSEMI Staffをアシストするのが目的である。もし、プロシジャールガイドやStyle Manualなどが規約に矛盾する場合には、SEMI規約を優先する。(Reg. 1.7) (そうでなければ、これらの文書は規約の延長上にある。)

